

## In brief

# An overview of financial reporting developments

No. 2012-03  
March 1, 2012

## FASBおよびIASBがより収斂させた金融商品会計アプローチの可能性について議論

### 最新の動向

今週(2012年2月27日の週)、米国財務会計基準審議会(FASB)と国際会計基準審議会(IASB)(両審議会)は、金融資産と金融負債の分類および測定に関する合同の議論を開始しました。2012年1月、両審議会はこの重要なプロジェクトをより緊密にコンバージェンスさせるため、共同で取り組む意向を発表しました。今週開催された会議は、分類および測定に関するコンバージェンスされるべき解決策を取り扱う一連の会議の第1回目でした。

これまで両審議会は、分類および測定について別個に作業してきており、現在、最終基準化の異なる段階にあります。FASBは、2010年度に提案された分類および測定について再審議の大部分を完了していますが、一方、IASBはすでに最終基準(IFRS第9号)を公表しています。しかしながら、2011年後半、IASBは以下の問題に対処するためにIFRS第9号について範囲を限定した修正の検討を決定しました。

- (1) 金融商品のアプローチを保険契約プロジェクトとどのように相互に関連付けるか
- (2) IFRS第9号の公表以後に認められた適用上の問題
- (3) FASBの暫定的アプローチとの差異

両審議会はまだ審議を完了していないため、当*In brief*に記載されているすべての決定事項は暫定的であり、変更の可能性があります。金融商品プロジェクトに関するFASBによる決定の完全な要約は、FASBのウェブサイト[www.fasb.org](http://www.fasb.org)よりご覧いただけます。

### 主な決定事項

#### 分類および測定

金融資産の分類および測定に対する両審議会のアプローチは、個別の金融商品の特性およびそれら金融商品に関する企業のビジネスモデルという2つの要件に焦点を絞っています。しかしながら、これら2つの要件は、審議会により異なる定義付けが行われています。

今週、FASBは、IASBの「金融商品の特性」アプローチを適用すると決定しました。このアプローチでは、金融資産が純利益を通じた公正価値以外(例:償却原価)の測定分類として適格であるためには、当該資産の契約上のキャッシュ・フローが元本および利息の支払いのみであることを要求しています。IASBも、この要件に関して適用ガイダンスの一部の変更を決定しました。



## 減損

上述に加えて、両審議会は、新しい減損アプローチを開発するために合同の議論を継続しています。今週の合同会議中、両審議会は受取債権のためのモデルについて議論しました。いくつかの決定が行われましたが、両審議会は今後も議論を継続する予定です。

## コンバージェンスは達成されるか？

分類および測定に関する合同の議論は今後数カ月にわたって続けられる予定です。しかし、両審議会が異なるアプローチを採用しているトピックのすべてが議論される予定ではないことに留意しなければなりません。たとえば、両審議会は、持分法の適用対象ではない資本性投資の分類および測定アプローチの再検討を現在のところ予定していません。

## 影響を受ける企業は？

最終ガイダンスは、金融商品を保有または発行する、すべての業界の企業に影響を与える可能性があります。

## 発効日は？

FASBは、発効日を決定する前に再審議を完了させなければなりません。IASBは、2015年1月1日以後開始する事業年度までIFRS第9号の発効日を延期することを決定しており([In brief 2011-55](#)を参照のこと)、今後、減損の最終基準書の発効日を決定しなければなりません。

## 次のステップは？

両審議会は、次回の会議において、分類および測定に関する残りの要件、すなわち事業モデルについての議論を行う予定です。この議論には、IASBがその他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性投資のための第三のカテゴリーを追加すべきかどうかに関する検討が含まれることとなります。両審議会は、その他に、複合金融資産の区分処理の必要性および影響を受ける金融負債の諸問題について議論を予定しています。FASBが2010年の公開草案の再審議において複合金融資産の区分処理規定を保持した一方で、IFRS第9号はその要求事項を削除しています。

両審議会は、売上債権、既存の信用毀損のある購入債権、および負債性証券に関するアプローチをさらに進展させることを含む、減損モデルについての合同の議論を今後数カ月間にわたり継続する予定です。

IASBは、対象を絞ったIFRS第9号の改訂に関する公開草案を今年下半期に公表する予定ですが、FASBは、分類および測定の再公開草案についてまだ正式決定を行っていません。両審議会ともに、今年下半期に新しい減損アプローチに関する公開草案を公表し、パブリック・コメントを募集する予定です。

---

*In brief* is designed to provide a timely, high-level overview of significant financial reporting developments. It is issued by the National Professional Services Group of PwC. This publication is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors. To access additional content on financial reporting issues, register for CFOdirect Network ([www.cfodirect.pwc.com](http://www.cfodirect.pwc.com)), PwC's online resource for financial executives.

© 2012 PwC. All rights reserved.  
PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details.